

テクニカル・データ・シート



カイク・コンクレタール・ラスワ AP (Keim Concretal®-Lasur-AP)

コンクリート塗料

日本塗料工業会登録
登録番号 S53002
ホルムアルデヒド放散等級
F☆☆☆☆



シラン100を はっ水 前処理で使用すると更に防水機能が強化されます。カイク・コンクレタール・ラスワ AP と共にカイク・シラン100を使用した塗装はDIN1504/2.2の防水要求に準拠します

カイク・コンクレタール・ラスワ・AP は水平、又はわずかしき傾斜しておらず、劣化した表面には適していません

1. 製品概要

カイク・コンクレタール・ラスワAP(主材)は屋内・屋外のコンクリート保護用ゾルシリケート塗料です。カイク・コンクレタール・ベース AP (増量材)又はカイク・コンクレタール・フィキサティブ(希釈材)で希釈すると色合いが薄くなり、カラークリア仕上げになります

また、塗りつぶし仕上げも可能です。カイク・シラン-100 (撥水剤) と共にご使用の場合は DIN EN1504-2/2.2 に準拠します。

2. 適用下地

カイク・コンクレタール・ラスワ・AP はインテリアの打放しコンクリート壁や外壁コンクリート表面に元の風合いを生かした薄い色で仕上げができます。カイク・コンクレタール・ベース・AP 又はカイク・コンクレタール・フィキサティブで必要に応じて希釈をすると、例えば、コンクリートの汚れを隠したり、コンクリート色の濃淡を修繕したり、泥絵の具のような仕上げができます

又は、 塗りつぶし仕上げでは薄い塗膜が表面下地に防水機能と耐劣化機能を提供します

色見本

カイク・パレット・エクスクルーシブ
(Keim Palette exclusive) 参照。

3. 製品性能

カイク・コンクレタール・ラスワ AP によるインテリアの打放しコンクリートに200色以上の選択からクリアカラー仕上げが可能です。CO₂等による劣化から保護し外部からの強烈な大気汚染物質の浸食を防止します。コンクリート下地表面には型枠板の感じが完全に残りません。

コンクリート表面はミネラル・マット仕上げになります。希釈材カイク・コンクレタール・フィキサティブ又は増量材カイク・コンクレタール・ベース を使用し、色々な希釈率によりクリアカラー仕上げができます。また、下地外観に色違い等の欠点や、汚れ等を均一化できます

結合剤 (バインダー)

結合剤はゾルシリケート、ケイ酸カリウム水ガラス、アクリル酸からできています。

テクニカル・データ・シート



カイク・コンクレタル・ラスワ AP (Keim Concretal®-Lasur-AP)

コンクリート塗料

テクニカル・データ (原液)

- 濃度 約 1.20g/cm³
- 耐水蒸気拡散性 s_d (H₂O) = 0.02m
- 色堅牢度 A1
(カラーコードは BFS テクニカル・インフォメーション No.26 に準拠)

4. 塗装方法

塗装する下地の状態は良好である事、乾燥している事、きれいである事、カビ、藻、破片、ほこり、油、粘着力が弱くなった下地等が無い事。有機塗料は完全に除去して下さい。

新しいコンクリート構造物の場合は型枠からの油分をカイク・ベトンシュネルレイニジャー (コンクリート用クリーナー) できれいに除去して下さい。

但し、きれいで丈夫なコンクリートの前処理は不要です。カイク・コンクレタル・ラスワ AP を塗装する前に吸収率が高い下地、厳しい気候にさらされた塗装面にはカイク・シルグルンド (撥水剤) 又は、カイク・シラン 100 (撥水剤) で はっ水 処理し防水力を高める事を推奨します。続いてカイク・コンクレタル・ラスワ AP 下塗り施工する場合、カイク・シラングルンドを先に使った場合は 4 時間後にして下さい。また、カイク・シラン 100 を使った場合は 4 ~ 24 時間後に塗装して下さい。

塗装面が柔らかく、多孔性の表面、あるいは旧鉱物性塗膜が残っている場合はカイク・コンクレタル・フィキサティブで下地を前処理して下さい

クリアカラー仕上げ

外壁等を塗装する場合、劣化に対する耐力強化の為、一般的に刷毛で色が薄い塗料を 2 度塗りします。下地塗りとは仕上げ塗りに関して、希望する仕上げ透明度によりカイク・コンクレタル・ラスワ AP (主材) をカイク・コンクレタル・ベース AP (増量材) またはカイク・コンクレタル・フィキサティブ (希釈材) で適宜に希釈して下さい。希釈率を決める為、試し塗り部分に試し塗りをする事をお勧めします。カイク・コンクレタル・ラスワ AP は塗装作業前、塗装途中でも十分に攪拌してご使用下さい。水や指定された材料 (カイク希釈液) 以外は加えないで下さい。

重要事項

塗装材料コンクレタル・ラスワ AP、コンクレタル・ベース AP そしてコンクレタル・フィキサティブはご希望の配合率で混ぜ合わせて下さい。カイク・コンクレタル・ベース AP は魅力的な透明度に併せて理想的な塗装性と塗膜の厚みをご提供します。カイク・コンクレタル・フィキサティブは素晴らしい透明度で薄い色の仕上がり、同時に明るい色調と極めて薄い塗膜の仕上げになります

塗りつぶし仕上げ

コンクリートの手触りを保つオパーク保護塗装にする為には下地塗りとは仕上げ塗りが必要です。

- 下地塗り (希釈率):
カイク・コンクレタル・ラスワ AP 15 ٪に対して
カイク・コンクレタル・ベース AP 2.5 ~ 8 ٪
(1 ٪のラスワ AP に 0.2 ~ 0.5 ٪のベース AP)
- 仕上げ塗り (希釈率):

テクニカル・データ・シート



カイク・コンクレタール・ラスワ AP (Keim Concretal®-Lasur-AP)

コンクリート塗料

原液のままコンクレタール・ラスワ AP を刷毛、ローラー、スプレーで塗ります。一度で所定の部分を塗りきって下さい。

塗装条件

気温と下地温度が+5℃～+30℃、また、最大湿度 80%以下でご使用下さい。十分乾燥した天気の際に塗装作業を行って下さい。直射日光下、あるいは下地が太陽で熱せられた状態、強風時、すぐにでも雨が降りそうな場合は塗装を中止して下さい。塗装後の急激な乾燥、風、雨を避ける為に塗装面を保護して下さい

乾燥時間

塗装と塗装の間隔は最少 12 時間が基本です。

- カイク・シラングランド（撥水剤）で下地調整した場合は約 4 時間後に下地塗して下さい
- カイク・シラン-100（撥水剤）を塗装した場合は約 4 時間～24 時間後に下地塗り開始して下さい

消費量（目安）

- オパーク仕上げ 2 回塗りの場合：
カイク・コンクレタール・ラスワ AP 約 0.25 ㍒/㎡
カイク・コンクレタール・ベース AP 約 0.04 ㍒/㎡
- 薄い色仕上げ 2 回塗りの場合：
希釈率の度合いに寄りますので試塗りによりご確認願います。

上記消費量は滑らかな下地へ塗装した場合の参考値です。

正確な使用量は塗装部分の試し塗りを行い決めて下さい。

用具の洗浄

使用後は道具を直ぐに水洗いできれいにして下さい。

5. 包装

- カイク・コンクレタール・ラスワ AP
1 ㍒、5 ㍒、15 ㍒/容器
- カイク・コンクレタール・ベース AP
5 ㍒、20 ㍒/容器
- カイク・コンクレタール・フィキサティブ
5 ㍒、20 ㍒/容器

6. 保管（場所・期限）

カイク・コンクレタール・ラスワ AP、カイク・コンクレタール・ベース AP、カイク・コンクレタール・フィキサティブ、は密封、冷所、霜がかからない場所で 12 カ月間です。

7. 廃棄処分

EC 廃棄物処理コード No.080112 に準拠し、容器の破棄処分に際していかなる残滓物も無いようご注意願います。

テクニカル・データ・シート



カイク・コンクレタル・ラスワ AP (Keim Concretal®-Lasur-AP)

コンクリート塗料

8. 安全上の注意

GISBAU 製品番号/GISCODE: M-SK01 に準拠

塗装しないガラス、自然石、セラミック等には表面を適切にマスキング・養生して下さい。塗装現場周囲や道路へ飛沫があった場合は直ちに大量の水で洗い流して下さい。飛沫から目や肌を保護して下さい。子供の手の届かないようにして下さい

EC Safety Data Sheet を参照願います。

本紙面に述べられている数値と所有資産は膨大な開発作業と実際の経験により取得したものです。弊社から塗装に際して口頭あるいは、書面による推奨は弊社製品選定の助けとなるよう意図されたもので、契約関係を成立させるものではありません。特に、弊社の推奨により当社製品の購入や適用の義務を負うものではありません。弊社は意図する塗装に対して十分な配慮を払い、用途に最適な当社の製品を推奨しています。標準的建設業界の慣例に従っております。弊社は製品と塗装の改善を目的として製品変更を行う権利を保有するものとします。

※本版により従前の全ての版を置き換えるものとします。